

2021（令和3）年 防犯活動推進委員会 議事録

開催日時：令和3年12月5日（日） 14:00～15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：上中村自治会：岡本松之助、丸本 武

中中村自治会：伊久美裕紀、桂川千子、大宅健一

下中村自治会：鴈本利夫、足立原宏司、澤木 充

宮崎（会長）、岡田（副会長）、佐藤（会計）、山浦（上・自治会長）、

春山（中・自治会長）、鈴木（下・自治会長）、國本（庶務）

：敬称略

司 会：岡田（副会長）

1、挨拶 町内会長

防犯活動推進委員会は各自治会独自の運営事業だが、町内会として取り組みたい案件について皆様にご相談いたしたく、今回全体での会合を開くこととしました。

2、防犯リーダー講習会参加報告（岡本松之助氏）

講習会は中村町内会としての参加なので、3自治会の代表として講習会に参加した。

講習会で説明がなされた注意喚起すべき内容は以下の通り。

- ・近隣で空き巣が5～6件あった。最近自転車の盗難が増えてきている。
- ・防犯パトロールは、実施時間を固定しない方が防犯には効果的だ。という提案があったが、実施する側からすると、時間が決められてないと運営の継続が難しいという意見が多くあった。
- ・電話による振り込め詐欺に対する注意が必要。
- ・カード変更詐欺への注意喚起。目の前で鉄を入れて、カードを破壊してるように見せても、実際に磁気の部分が切られていない。

3、通学路の安全について

①中中村の「しまむら」～小山中までの通学路白線設置の取り組みについて

別添資料の通り、「しまむら」から小山中中学校までの道路が通学路となっているが、車の通行量も多く、対策が必要だと思われる。11月9日に行われた市政懇談会にて、小山連合の要望の1つとしてテーマに取り上げていただいた。

市の説明では、道路幅の制限から、片側なら歩行者通行帯の白線を引ける可能性が示された。

今後、実現に向け、学校との連動や沿線の住民の同意を得る等、町内会でとりまとめ、市に対し要望として出していくために、通学路白線設置推進委員会（仮）を立ち上げたい。

委員会メンバーは、町内会5役、防犯活動推進委員（委員長、各自治会から数名）、沿線となる中中村自治会役員・OBとし、委員長については今年度は町内会長が行う事としたい。

防犯活動推進委員の皆様にはぜひご協力いただきたい。

← 同意を得るべき住民の範囲はどこまでか。

→ ガソリンスタンドから中学校までの間で、道路に出入り口が接している住宅の方を対象としたい。白線を引く側は中学校側から下を見て右側に設置した方が安全だと思う。

→ 以前、同様の要望を出した際には、道路幅の制限から却下となった実績がある。

← 今回の市政懇談会の中では、市のご担当者からは、道幅の問題があるが、片側の白線のみの可能性が示された。

②その他の通学路の安全について報告など

- ・裏道も抜け道として多量の車が通行している。朝などは殺気立った運転手もいて、危険な状況だ。
← 将来的には徐々にスクールゾーン設置が拡大できればいいと思う。
- ・小山中学で登下校を考える会が開催されている。以前の開催で、裏道でも危険なところは通学路としないよう学校から指導された事がある。

4、登下校の見守り活動についての状況報告都意見

- ・防犯活動と見守りは別の活動組織。
見守りは、以前、番場町内会の方が、番場から小学校まで途切れなく見守りをカバーしたいという思いから、ボランティアで活動を開始した。その後、中村の人たちも自発的に参加するようになった。町内会としての活動ではなく自発的なボランティア活動として継続している。
- ・沼では町内会の活動として防犯と見守りを一体化して行っている。
- ・参加者の時間の制約などから、1～2年生の登下校の時間で行うのが効果的。
- ・市民活動として行っているので、車のドライバーへの抑止力が弱い。
警察は見守りにはほとんど来ていない。
- ・年に数回 PTA 委員の参加がある。
見守り隊と学校との交流は4月に小学校で顔合わせ会をやっている程度。
- ・小山中では警察から自転車と歩行者の通行区分の指導が行われた。
- ・今後、町内会としてのサポートとして活動の認知向上の動きが必要と思われる。
回覧での定期的な参加者募集や子供への安全の啓蒙等の情報発信が効果的。

5、年末パトロールについて

- ・それぞれの自治会での実施予定は以下の通り。
上中村 26日－29日 18：00～
中中村 21日－29日 19：00～
下中村 21日－24日 19：00～
- ・南大沢警察からの激励はコロナ禍から今回は辞退した。

6、その他

- ・中中村の道路で薄暗く不法投棄もされている道路がある。
← 関係者に伐採など依頼する。
- ・防犯ベスト誘導灯は市から2年会の貸与となっている。
昨年度申請していなければ、今回町内会で市に誘導灯の配布を依頼する。

以上

通学路（しまむら⇄小山中学校）白線設置に向けて（案）

2021年12月5日

中村町内会会長 宮崎 亘

1、現状

「しまむら」から「小山中」の横を通り、「三郷」にぬける道路は、道幅が狭いにも関わらず、町田街道から多摩境通りに抜ける抜け道として利用されており、その道路を通学路としている児童・生徒は日々危険な状態の中通学をしている。重大な事故を未然に防ぐためにも対策を取る必要がある。

2、市政懇談会（11月9日）

小山連合の要望の1つとして

（1）児童、生徒の登下校時の安全確保に向け、しまむら近くや小山小学校前といった幹線道路への接続道の歩道の色を変えるかスクールゾーン・登下校時の車の通行規制標識の設置をするなどの対策をお願いいたします。

（2）児童の登下校時に南大沢警察署が行っている車の監視活動の強化をお願いいたします。
以上内容を提出した。

（市の回答）

両側に線の設置をするのは、6mの道路幅が必要なので、両側に線は引けないが、片側ならば可能。ただし、沿道の住民の理解や同意が必要。地域で同意がとれれば、市としても設置を進めることが可能である。

スクールゾーンは、地域住民、う回路になる馬場十字路から多摩境通りの住民（上馬場）などの承諾が必要になる。

3、運動の進め方（市政懇談会の市の回答を受けて）

片側の「外側線」の設置を要望する。（白ライン）

①沿道住民の同意を得る。（中中村）

1月中に回覧で情報を提供し、同意の意思を集約する。

②小山中、小山小と連携する。

③沿道住民の同意を得た時点で市に要望書を提出する。

できれば2月中

④市（道路部）とも事前に進め方などの確認をする。

4、組織

通学路白線設置推進委員会（仮）を立ち上げる。

※今年度だけでは実現しないのではないかと。そのため、状況に応じ来年も引き続く。

（メンバー）町内会5役、防犯活動推進委員（委員長、各自治会から数名）、中中村自治会役員・OB
委員長は今年度は町内会長が行う。